

注3

大学番号：国026

共同設置

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

岩手大学 農学部 共同獣医学科
東京農工大学 農学部 共同獣医学科

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

岩手大学：国立大学法人 岩手大学
東京農工大学：国立大学法人 東京農工大学

平成27年5月1日現在

岩手大学：作成担当者	
担当部局（課）名	財務部財務企画課
職名・氏名	ケイエキカク シュサ シモヤシキ ツカサ 経営企画グループ主査 下屋敷 司
電話番号	019-621-6026
（夜間）	019-621-6026
F A X	019-621-6879
e-mail	zyosan@iwate-u.ac.jp
東京農工大学：作成担当者	
担当部局（課）名	総務部総務課
職名・氏名	ホウキカカリョウ サカグチ ヨウコ 法規係長 坂口 洋子
電話番号	042-367-5505
（夜間）	042-367-5505
F A X	042-367-5553
e-mail	bunsyo@cc.tuat.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

国立大学法人 岩手大学 : 岩手大学

国立大学法人 東京農工大学 : 東京農工大学

(2) 大学の位置

(岩手大学)

〒020-8550 : 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

(東京農工大学)

〒183-8509 : 東京都府中市幸町三丁目5番8号

(〒183-8538 : 東京都府中市晴見町三丁目8番1号)

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
〇〇大学	理事長 (該当しない場合は不要)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	該当なし
	学長			
	学部長			
	学科長等			
△△大学	理事長 (該当しない場合は不要)			該当なし
	学長			
	学部長			
	学科長等			

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
 (例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
 平成27年度に報告する内容 → (27)
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
岩手大学農学部 共同獣医学科 学士(獣医学)	6 年	30 人	2年次 若干名 人	180 人	
東京農工大学農学部 共同獣医学科 学士(獣医学)	6	35	2年次 若干名 人	210	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
岩手大学	A入学定員	30人 () [若干名]	—人 () [若干名]) [若干名]	1.05倍	-											
	志願者数	() [—] 263	() [—] —	(57) [—] 195	() [—] —	(50) [1] 175	() [—] —	(46) [—] 167	() [—] —	() [] —	() [] —	() [] —	() [] —			
	受験者数	() [—] 224	() [—] —	(53) [—] 168	() [—] —	(46) [1] 144	() [—] —	(39) [—] 133	() [] —							
	合格者数	() [—] 31	() [—] —	(4) [—] 32	() [—] —	(3) [—] 33	() [—] —	(1) [—] 33	() [] —							
	B入学者数	() [—] 30	() [—] —	(4) [—] 32	() [—] —	(2) [—] 32	() [—] —	() [—] 33	() [] —							
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.06		1.06		1.10								
東京農工 大学	A入学定員	35人 () [若干名]	—人 () [若干名]) [若干名]	1.11倍	-											
	志願者数	() [—] 384	() [—] —	(9) [1] 387	() [—] —	(15) [1] 390	() [—] —	(9) [—] 294	() [] —							
	受験者数	() [—] 337	() [—] —	(8) [1] 323	() [—] —	(15) [1] 336	() [—] —	(9) [0] 248	() [] —							
	合格者数	() [—] 40	() [—] —	(0) [0] 40	() [—] —	(1) [0] 39	() [—] —	(0) [0] 40	() [] —							
	B入学者数	() [—] 39	() [—] —	(0) [0] 40	() [—] —	(1) [0] 38	() [—] —	(0) [0] 39	() [] —							
	入学定員超過率 B/A	1.11		1.14		1.08		1.11								

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。
 - ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
岩手大学	1年次	[-] () 30	[-] () -	[-] () 32	[-] () -	[-] () 32	[-] () -	[-] () 33	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	2年次			[-] () 34	[-] () -	[-] () 34	[-] () -	[-] () 32	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	3年次					[-] () 34	[-] () -	[-] () 34	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	4年次							[-] () 34	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	5年次									[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	6年次										[] ()	[] ()	[] ()	
	計	[-] () 30	[-] () -	[-] () 66	[-] () -	[-] () 100	[-] () -	[-] () 133	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
東京農工 大学	1年次	[-] () 39	[-] () -	[-] () 40	[-] () -	[-] () 38	[-] () -	[] () 39	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	2年次			[-] () 39	[-] () -	[-] () 40	[-] () -	[] () 39	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	3年次					[-] () 40	[-] () -	[] () 40	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	4年次							[] () 40	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	平成27年度に、2年次へ転学科1名
	5年次									[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	6年次										[] ()	[] ()	[] ()	
	計	[-] () 39	[-] () -	[-] () 79	[-] () -	[-] () 118	[-] () -	[-] () 158	[-] () -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
岩手 大学	平成24年度 入学者	30人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
				平成25年度	0人	0人		
				平成26年度	0人	0人		
				平成27年度	0人	0人		
	平成25年度 入学者	36人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
				平成26年度	0人	0人		
				平成27年度	0人	0人		
	平成26年度 入学者	34人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
				平成27年度	0人	0人		
	平成27年度 入学者	33人	0人	平成27年度	0人	0人		0%
合 計	133人	0人					0%	
東京 農工 大学	平成24年度 入学者	39人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
				平成25年度	0人	0人		
				平成26年度	0人	0人		
				平成27年度	0人	0人		
	平成25年度 入学者	40人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
				平成26年度	0人	0人		
				平成27年度	0人	0人		
	平成26年度 入学者	39人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
				平成27年度	0人	0人		
	平成27年度 入学者	39人	0人	平成27年度	0人	0人		0%
合 計	157人	0人					0%	

- (注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部共同獣医学科>

(1) 授業科目表

(農学部共同獣医学科) 【岩手大学開設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科 育 大 目 導 学 群 入 教	基礎ゼミナール	1前	岩手大学	1								全学 教員	
	健康・スポーツA	1前	岩手大学	1								兼6 兼7 兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(27)
	健康・スポーツB	1後	岩手大学	1								兼6 兼7 兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(27)
外 国 語 科 目 群	英語総合Ⅰ	1前	岩手大学	1								兼23 兼22 兼19 兼8	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
	英語総合Ⅱ	1後	岩手大学	1								兼22 兼20 兼19 兼8	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
	英語コミュニケーションⅠ	1前	岩手大学	1								兼14 兼13 兼20 兼9	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
	英語コミュニケーションⅡ	1後	岩手大学	1								兼13 兼12 兼20 兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
	英語総合Ⅲ	2前	岩手大学	1								兼1	
	英語コミュニケーションⅢ	2後	岩手大学	1								兼1	
人 文 社 会 科 学 科 目 群	哲学の世界	1・2前	岩手大学		2							兼2	
	倫理学の世界	1前-後	岩手大学		2							兼1 兼2	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更(26) 教育効果を高めるため、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	憲法	2前・後	岩手大学		2							兼5	
	経済のしくみ	2前-後	岩手大学		2							兼3	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更(26)
	現代社会の社会学	1後- 2前・後	岩手大学		2							兼5 兼4 兼5	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更(26) 教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)-(27)
	心の理解	1後、 2前・後	岩手大学		2							兼6 兼8 兼7 兼6	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更(26) 教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
	日本の歴史と文化	1前・後	岩手大学		2							兼2 兼1	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(27)
	市民と政治	1後、 2前-後	岩手大学		2							兼2 兼3 兼1	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更(26) 教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)
理 数 系 基 礎 科 目 群	生物学	1前	岩手大学	2								兼6 兼4	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	化学	1前	岩手大学	2								兼1	
	獣医細胞生物学	1後	岩手大学	2			1	1				兼1	教育効果を高めるために、共同獣医学科専任教員の担当科目へ変更(26)
	情報基礎	1前	岩手大学	2								兼15 兼12	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
初級ドイツ語(入門)	初級ドイツ語(入門)	1前	岩手大学	1								兼10 兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	初級ドイツ語(入門)	1前	岩手大学	1								兼10 兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	初級ドイツ語(発展)	1後	岩手大学	1								兼10 兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)

初級ドイツ語（発展）	1後	岩手大学	1							兼10 兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
初級フランス語（入門）	1前	岩手大学	1							兼11 兼10 兼9 兼10	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
初級フランス語（入門）	1前	岩手大学	1							兼11 兼10 兼9 兼10	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
初級フランス語（発展）	1後	岩手大学	1							兼9 兼11 兼9 兼9	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
初級フランス語（発展）	1後	岩手大学	1							兼9 兼11 兼9 兼9	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
初級中国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼5 兼3 兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)
初級中国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼5 兼3 兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)
初級中国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼5 兼6 兼3 兼5	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
初級中国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼5 兼6 兼3 兼5	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)-(27)
初級韓国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)
初級韓国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)
初級韓国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)
初級韓国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)-(26)
くらしと科学技術	1後	岩手大学	2							兼1	
知的財産入門	1・2前	岩手大学	2							兼1	
岩手大学ミュージアム学	1前	岩手大学	2							兼1	
水と環境	1後	岩手大学	2							兼1	
動物と環境	1後	岩手大学	2							兼1	
生活と環境	1後	岩手大学	2							兼1	
農学のための倫理学	2後	岩手大学	2							兼2	
人の暮らしと生物環境	1後	岩手大学	2							兼1	
欧米の思想と文化	1後	岩手大学	2							兼1	
市民生活と法	1・2前	岩手大学	2							兼4	
総合フィールド科学	1前	岩手大学	2							兼7	
総合フィールド科学実習	1前	岩手大学	1							兼4 兼5	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
生命のしくみ	1・2前後	岩手大学	2							兼3 兼4	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
物理学入門	1前	岩手大学	2							兼1	
線形代数学入門	1後	岩手大学	2							兼1	
微分積分学入門	1後	岩手大学	2							兼1	
生物統計学	1後	岩手大学	2			1				兼2 兼1	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26) 教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)
基礎化学実験	1後	岩手大学	1							兼1	
基礎生物学実験	1後	岩手大学	1							兼23 兼18	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
基礎物理学演習	1後	岩手大学	1							兼2	
自然のしくみ	1・2前後	岩手大学	2							兼3	学習指導要領の改正を受け、生物系科目の再編を行ったため、科目を追加(27)
獣医学概論	1前	岩手大学	2			8					おんバス、集中
獣医事法規	4後 1後	岩手大学	1			2		1		兼1	教育効果を高めるために、配当年次を変更(24) 教育効果を高めるため担当教員の配置を見直したため(27)
内臓・脈管系解剖学	2後 2前	岩手大学	2			1		1		兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)

基礎獣医学 科目群	解剖学実習	2前・後	岩手大学	3			1	1												
	組織学	2前	岩手大学	2			1							兼1						
	組織学実習	2前	岩手大学	1			1	1												
	器官制御生理学	2後	岩手大学	2			1	1						兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	内分泌学	3前	岩手大学	2			1	3	1						オムニバス 教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)-(27)					
	生理学実習	2後	岩手大学	1			1	1												
	獣医遺伝育種学	2前	岩手大学	1			1							兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	実験動物学	2前	岩手大学	2			1							兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	実験動物学実習	2後	岩手大学	1			1	2	1						教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	基礎放射線学	2後	岩手大学	2			2	4	0	4					教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
	獣医基礎生化学	2後	岩手大学	2			1	1	2						教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	生化学実習	3前	岩手大学	1			1	1	2						教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	統合薬理学	3後	岩手大学	2			1													
	薬理学実習	3前	岩手大学	1					1											
	病態獣医学 科目群	病原微生物学	3前	岩手大学	2			1	4					兼1	教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)					
		微生物学実習	2後・3前	岩手大学	2			1	4					兼1	教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)					
		原虫・原虫病	3前	岩手大学	2			1						兼0 兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
		蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	3後	岩手大学	2			1						兼0 兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
		寄生虫学実習	3後	岩手大学	1			1			1				教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
		家禽疾病学	4前	岩手大学	2			1												
		魚病学	4後	岩手大学	2										兼1					
		動物病理学各論A(主要臓器)	3後 4後	岩手大学	2			1		1						教育効果を高めるため、配当年次を変更するとともに、担当教員の配置を見直したため(26)				
		動物病理学各論B(他臓器・組織)	4前 4後	岩手大学	2			1		1						教育効果を高めるため、配当年次を変更したため(26) 教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)				
		病理学実習	3後・4前 4前-後	岩手大学	2			1		1		1				教育効果を高めるため、配当年次を変更したため(26) 教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)				
		公衆衛生学総論	3前	岩手大学	1					1					兼1					
		人獣共通感染症学	3後	岩手大学	2			1												
	環境衛生学	3後	岩手大学	2			1		4					兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	公衆衛生学実習	3後	岩手大学	1			1		4					兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(26)					
	毒性学実習	4後 3前	岩手大学	1			1							兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)					
	動物衛生学実習	3後	岩手大学	1			1		1					兼1	教育効果を高めるために、担当教員の配置を見直したため(26)					
	野生動物学	3後	岩手大学	1			1							兼1	教育効果を高めるために、担当教員の配置を見直したため(26)					
	食品衛生学実習	4前	岩手大学	1			1													
	公衆衛生実践実習	3・4・5前 3-4前	岩手大学	1			4	5	2		1				教育効果を高めるため、配当年次を変更するとともに、担当教員の配置を見直したため(26)					
	専門教育科目	内科学総論	3後 4前	岩手大学	1			2								オムニバス 教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)				
		消化器病学	4後	岩手大学	2			1	2	1		1			兼1	オムニバス 教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)				
		外科学総論	3後 4前	岩手大学	1			2	4	2	1					オムニバス 教育効果を高めるため、配当年次を変更(26) 教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)				
麻酔学・手術学		4前	岩手大学	1			2	1	2	1				兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
軟部外科学		4後	岩手大学	1			2	1	1					兼1	オムニバス 教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
小動物内科学実習・基礎編		4前	岩手大学	1			2	1			1	2			教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
小動物内科学実習・応用編		4後	岩手大学	1			2	1			1	2			教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
小動物外科学実習・基礎編		4前	岩手大学	1							1			兼1						
小動物外科学実習・応用編		4後	岩手大学	1							1			兼1						
代謝病・中毒学		5後	岩手大学	1			1	2						兼2	オムニバス 教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)					
血液免疫病学		5後	岩手大学	1			1	2						兼2	オムニバス 教育効果を高めるために、担当教員の配置を見直したため(26) 教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)					
神経病・運動器病学		5前	岩手大学	2			1		1						教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)					
泌尿器病・生殖器病学		5後	岩手大学	2							1			兼1						
臨床病理学		3後 5後	岩手大学	2			2							兼2	オムニバス 教育効果を高めるために、配当年次を変更(26)					

実証獣医学科目	臨床腫瘍学	5後	岩手大学	2		2 +	1				兼1 兼2	ホムバス 教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	臨床栄養学	5後	岩手大学	1		1					兼1	教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	画像診断学	5前	岩手大学	2		1	1				兼1	ホムバス 教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	画像診断実習	5前	岩手大学	1					1		兼1	
	総合参加型臨床実習Ⅰ	5前	岩手大学	1		3 2	1		2 3		兼2	教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	総合参加型臨床実習Ⅱ	5前	岩手大学	1		2	1		3		兼2	
	繁殖機能制御学	4前	岩手大学	2		+	1					教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	繁殖機能制御学実習	4前	岩手大学	1		+	1					教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	臨床繁殖学実習	4後	岩手大学	1		+	1					教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	産業動物臨床学Ⅰ 産業動物内科学	4前 5前	岩手大学	2		1	+					教育効果を高めるため、配当年次を変更したため(26) 科目名及び教育内容を見直し、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムで新たに定められた「産業動物臨床学」に準拠したものにへ変更するとともに、教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)
	産業動物臨床学Ⅱ 産業動物外科学	4後 5前	岩手大学	2		1	1					教育効果を高めるため、配当年次を変更したため(26) 科目名及び教育内容を見直し、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムで新たに定められた「産業動物臨床学」に準拠したものにへ変更するとともに、教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直したため(27)
	馬臨床学	4後 5前	岩手大学	1							兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)
	大動物臨床実習・基礎編	5前	岩手大学	1		2	1		1			
	大動物臨床実習・応用編	5前	岩手大学	1		3	2		1			
	総合参加型臨床実習Ⅴ	6前	岩手大学	1		3	2		1		兼4	集中
	総合参加型臨床実習Ⅵ	6前	岩手大学	1		3	2		1		兼4	集中
	選択科目	インターンシップ	3・4・5 前後	岩手大学		1						
海外実習		3・4・5 前後	岩手大学		1							集中
人と動物関係学		2前	岩手大学		2						兼3 兼2 兼1	集中 専門分野毎に教員の配置を見直したため(26) (27)
動物品種論		3前	岩手大学		2						兼3 兼1	集中 専門分野毎に教員の配置を見直したため(26) 教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
食品安全管理学		4前	岩手大学		2						兼1	教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(26)
専修科目	獣医学演習	4後・5前	岩手大学	4		12 14	8 9		5		兼2 兼3	教員の異動により、担当教員の配置を見直したため(27)
	卒業研究	5後 6前後	岩手大学	10		14	9		5		兼3	

(農学部共同獣医学科)【東京農工大学開設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科 導 教 育 目 入 育 群 健 康 科 目 群	農学基礎ゼミ	1前	東京農工大学	1.5 +								全学 教員	全学共通科目の見直しのため、単位数を変更(27)
	体力学実技	1前	東京農工大学	1								兼4	
	生涯スポーツ実技	1後	東京農工大学	1								兼3	
外国語科目群	Integrated English 英語→リーディング&ライティング	1前	東京農工大学	1								兼4	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更(27)
	Paragraph Writing 英語→ライティング&ライティング	1後	東京農工大学	1								兼2	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更(27)
	English Discussion 英語→イングリッシュコミュニケーション	1後	東京農工大学	1								兼2	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更(27)
	English Reading 英語→アドヴァンスト・リーディング	2後	東京農工大学	1								兼5	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更(27)
	Essay Writing 英語→アドヴァンスト・ライティング	2前	東京農工大学	1								兼4	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更(27)
	English Presentation 英語→イングリッシュコミュニケーション	2前	東京農工大学	1								兼2	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更(27)
人文社会科学	哲学	2前	東京農工大学		2							兼1	
	現代倫理論	1後	東京農工大学		2							兼1	
	日本国憲法	1前	東京農工大学		2							兼1	
	経済学	1後	東京農工大学		2							兼2	
	社会学	1後	東京農工大学		2							兼1	

科目群	心理学	1後・2前 2後	東京農工 大学		2						兼1	履修機会の多様化を図るため、配当年次を変更 (24) 履修機会の多様化を図るため、配当年次を変更 (27)
	歴史学	1前	東京農工 大学		2						兼1	
	共生社会政策論	2前	東京農工 大学		2						兼1	
理数系基礎科目群	生物学	1前	東京農工 大学	2							兼6	
	化学	1前	東京農工 大学	2							兼3	
	微生物学 細胞生物化学	2前 1後	東京農工 大学	2							兼3	全学共通科目の見直しのため、授業科目及び配当年次を変更 (27)
	遺伝学	2前	東京農工 大学	2							兼3	全学共通科目の見直しのため、科目群・必修・選択科目及び配当年次を変更 (27)
情報処理学	1前	東京農工 大学	2							兼1		
共通教育科目	ドイツ語入門Ⅰ 初級文法Ⅰ	1前	東京農工 大学		1						兼2	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	ドイツ語入門Ⅱ 初級文法Ⅱ	1後	東京農工 大学		1						兼2	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	ドイツ語ステップアップ初級講読	1後	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	フランス語入門Ⅰ 初級文法Ⅰ	1前	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	フランス語入門Ⅱ 初級文法Ⅱ	1後	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	フランス語ステップアップ初級講読	1後	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	中国語入門Ⅰ 初級文法Ⅰ	1前	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	中国語入門Ⅱ 初級文法Ⅱ	1後	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	中国語ステップアップ初級講読	1後	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	韓国語入門Ⅰ 初級文法Ⅰ	1前	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	韓国語入門Ⅱ 初級文法Ⅱ	1後	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	韓国語ステップアップ初級講読	1後	東京農工 大学		1						兼1	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
配置大学特色科目群	科学史	1前	東京農工 大学	2							兼1	
	知的財産権論	2後	東京農工 大学	2							兼1	
	多文化共生論	1後	東京農工 大学	2							兼1	
	自然保護文化論	2後	東京農工 大学	2							兼2	
	産業史	1前	東京農工 大学	2							兼1	
	食料・環境問題	1前	東京農工 大学	2							兼2	
	技術者倫理	2後	東京農工 大学	2							兼1	
	生命倫理	2後	東京農工 大学	2							兼1	
	現代宗教論	1前	東京農工 大学	2							兼1	
	国際平和論	2前 2後	東京農工 大学	2							兼1	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更 (27)
	MORE SENSE入門	1前	東京農工 大学	0.5 +							兼7	全学共通科目の見直しのため、単位数を変更 (27)
	生態学	1後	東京農工 大学	2							兼3	
	生物構造機能学 微生物学	2前	東京農工 大学	2							兼3	全学共通科目の見直しのため、授業科目名を変更 (27)
	物理学	1前	東京農工 大学	2							兼1	
	線形代数学Ⅰ	1前	東京農工 大学	2							兼1	
	微分積分学Ⅰ	1後	東京農工 大学	2							兼1	
	数理統計学	2後	東京農工 大学	2							兼1	
	遺伝学	1後	東京農工 大学	2							兼3	全学共通科目の見直しのため、科目群・必修・選択科目及び配当年次を変更 (27)
	化学実験	1後・2前	東京農工 大学	2 +							兼6	全学共通科目の見直しのため、単位数を変更 (27)
	生物学実験	1後・2前	東京農工 大学	2 +							兼6	全学共通科目の見直しのため、単位数を変更 (27)
有機化学	2前	東京農工 大学	2							兼2		
	獣医倫理	1後	東京農工 大学	2		8 +	2 +	1			兼2 兼1	ムバース、集中教育効果を高めるため、ムバース方式にし、教員数を変更 (25) 異動のため教員配置を変更 (27)
	獣医法規	4後 1後	東京農工 大学	1							兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更 (24)
	運動器・神経系解剖学	2前 1後	東京農工 大学	2		1	+				兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更 (24) 異動のため教員配置を変更 (27)
	解剖学実習	2前・後	東京農工 大学	3		1	+		1			異動のため教員配置を変更 (27)
	組織学実習	2前	東京農工 大学	1		1	+		1			異動のため教員配置を変更 (27)

病態獣医学科目群	発生学	1後 2後	東京農工 大学	1						兼1	教育効果を高めるため、配当年次を 変更 (24)		
	統合生理学	2前	東京農工 大学	2		1	4		1	兼1	異動のため教員配置を変更 (27)		
	内分泌学	3前	東京農工 大学	2		1 3	4		1		兼1	異動のため教員配置を変更 (27)	
	生理学実習	2後	東京農工 大学	1		1	4		1			異動のため教員配置を変更 (27)	
	獣医遺伝育種学	2前	東京農工 大学	1							兼1		
	動物行動学	2後	東京農工 大学	2				1		1	兼1	異動のため教員配置を変更 (27)	
	実験動物学実習	2後	東京農工 大学	1		1					兼1	異動のため教員配置を変更 (27)	
	基礎放射線学	2後	東京農工 大学	2					1		兼1	異動のため教員配置を変更 (27)	
	獣医代謝生化学	3前	東京農工 大学	2		1							
	生化学実習	3前	東京農工 大学	1		1	4			1		異動のため教員配置を変更 (27)	
	基礎薬理学	3前	東京農工 大学	2		1	1				兼1	異動のため教員配置を変更 (27)	
	薬理学実習	3前	東京農工 大学	1		1	1						
	微生物学総論	2後	東京農工 大学	2			2 4				兼2	異動のため教員配置を変更 (27)	
	微生物学実習	2後・3前	東京農工 大学	2			2 4				兼2	異動のため教員配置を変更 (27)	
	免疫学	3後	東京農工 大学	2		2 4	4					異動のため教員配置を変更 (27)	
	寄生虫学実習	3後	東京農工 大学	1						4	兼1	異動のため教員配置を変更 (27)	
	動物感染症学	4前 3後	東京農工 大学	3		1	1			1	兼3	教育効果を高めるため、配当年次を 変更 (24) 異動のため教員配置を変更 (27)	
	魚病学	4後	東京農工 大学	2							兼1		
	動物病理学総論	3後 4前	東京農工 大学	2		1	1		4			教育効果を高めるため、配当年次を 変更 (24) 異動のため教員配置を変更 (27)	
	動物病理学各論B (他臓器・組織)	4前 4後	東京農工 大学	2		1	1		4			共用試験 (4年次終了時) のため、配 当年次を変更 (26) 異動のため教員配置を変更 (27)	
	病理学実習	3後・4前 4前・後	東京農工 大学	2		1	1		4			共用試験 (4年次終了時) のため、配 当年次を変更 (26) 異動のため教員配置を変更 (27)	
	応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	3前	東京農工 大学	1		1		1	4		異動のため教員配置を変更 (27)	
		疫学	3前	東京農工 大学	2		1	1			兼2	異動のため教員配置を変更 (27)	
		公衆衛生学実習	3後	東京農工 大学	1		1		1	4		異動のため教員配置を変更 (27)	
		毒性学	4後 3前	東京農工 大学	2			1	4	1	兼1	共用試験 (4年次終了時) のため、配 当年次を変更 (26) 異動のため教員配置を変更 (27)	
		毒性学実習	4後 3前	東京農工 大学	1			1	4	1	兼1	共用試験 (4年次終了時) のため、配 当年次を変更 (26) 異動のため教員配置を変更 (27)	
		動物衛生学	3後	東京農工 大学	2		1	1			兼3	異動のため教員配置を変更 (27)	
動物衛生学実習		3後	東京農工 大学	1		1	1			兼2	異動のため教員配置を変更 (27)		
野生動物学		3後	東京農工 大学	1			1						
食品衛生学		4前	東京農工 大学	2		1		1	4		異動のため教員配置を変更 (27)		
食品衛生学実習		4前	東京農工 大学	1		1		1	4		異動のため教員配置を変更 (27)		
公衆衛生実践実習		3前~5後 3-4前	東京農工 大学	1		2 5	1 3		1	2		履修機会の多様化を図るため、配当 年次を変更 (26) 異動のため教員配置を変更 (27)	
小動物臨床獣医学科目群		内科学総論	3後 4前	東京農工 大学	1		2	1 2		2		共用試験 (4年次終了時) のため、配 当年次を変更 (26) 異動のため教員配置を変更 (27)	
		呼吸器病・循環器病学	4前	東京農工 大学	2			2 4		4		異動のため教員配置を変更 (27)	
	消化器病学	4後	東京農工 大学	2		3	2		1		兼1		
	外科学総論	3後 4前	東京農工 大学	1		1	3		3		兼1	共用試験 (4年次終了時) のため、配 当年次を変更 (26) 異動のため教員配置を変更 (27)	
	麻酔学・手術学	4前	東京農工 大学	1		1	3	2 3			兼1	兼1 異動のため教員配置を変更 (27)	
	軟部外科学	4後	東京農工 大学	1		1	2	2				兼1	
	小動物内科学実習・基礎編	4前	東京農工 大学	1		4	1 3	2	4			異動のため教員配置を変更 (27)	
	小動物内科学実習・応用編	4後	東京農工 大学	1			1		1				
	小動物外科学実習・基礎編	4前	東京農工 大学	1		1	3	2 3			兼1	異動のため教員配置を変更 (27)	
	小動物外科学実習・応用編	4後	東京農工 大学	1		1	2	3			兼1		
	内分泌病・皮膚病学	5前	東京農工 大学	2		3	1				兼1		
	代謝病・中毒学	5後	東京農工 大学	1		4	2		2			兼1	
	血液免疫病学	5後	東京農工 大学	1		2	1		1		兼1	兼1	

実証獣医学科目	臨床病理学	3後 5後	東京農工 大学	2			2 3	2	1	2		オムバ ス 共用試験（4年次終了時）のため、配 当年次を変更（26） 異動のため教員配置を変更（27）	
	臨床薬理学	5前	東京農工 大学	1			1	1				兼1	
	臨床腫瘍学	5後	東京農工 大学	2			2		1			オムバ ス	
	臨床栄養学	5後	東京農工 大学	1								兼1	
	画像診断学	5前	東京農工 大学	2				1	1			オムバ ス	
	画像診断実習	5前	東京農工 大学	1				1	1				
	眼科学	5後 6前	東京農工 大学	1				1					共用試験（4年次終了時）のため、配 当年次を変更（26）
	動物行動治療学	4後 6前	東京農工 大学	1				1				兼1	共用試験（4年次終了時）のため、配 当年次を変更（26）
	総合参加型臨床実習Ⅰ	5前	東京農工 大学	1			3	4	3	2		兼1	
	総合参加型臨床実習Ⅱ	5前	東京農工 大学	1			3	4	3	2		兼1	
	総合参加型臨床実習Ⅲ	5後	東京農工 大学	1			3	4	3	2		兼1	集中
	総合参加型臨床実習Ⅳ	5後	東京農工 大学	1			3	4	3	2		兼1	集中
大動物臨床獣医学科目群	臨床繁殖学	4後	東京農工 大学	2			+	1					異動のため教員配置を変更（27）
	繁殖機能制御学実習	4前	東京農工 大学	1			+	1		1			異動のため教員配置を変更（27）
	臨床繁殖学実習	4後	東京農工 大学	1			+	1		1			異動のため教員配置を変更（27）
	大動物臨床実習・基礎編	5前	東京農工 大学	1								兼2	
	大動物臨床実習・応用編	5前	東京農工 大学	1			1	1				兼2	
	選択科目	インターンシップ	3・4・5 前後	東京農工 大学		1							
海外実習		3・4・5 前後	東京農工 大学		1								集中
動物園動物学		2後	東京農工 大学		2							兼3	集中
国際感染症制御学		3後	東京農工 大学		2							兼4 兼3	集中 異動のため教員配置を変更（27）
動物病院経営学		4後	東京農工 大学		2							兼3	集中
専修科目	獣医学演習	4後・5前	東京農工 大学	4			14	12	4	4	0	兼3	
	卒業研究	5後 6前後	東京農工 大学	10			14	12	4	4	0	兼3	

- (注) ・ 設置計画書様式第2号（その2の2）又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

大学名	届出時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
岩手大学	科目 81	科目 49	科目 0	科目 130	科目 81 [0]	科目 50 [1]	科目 0 [0]	科目 131 [1]	
東京農工大学	科目 83	科目 45	科目 0	科目 128	科目 82 [Δ1]	科目 46 [1]	科目 0 [0]	科目 128 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
岩手大学	1	該当なし					
	2						
	3						
東京農工大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
岩手大学	1	該当なし					
	2						
	3						
東京農工大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岩手大学： 該当なし 東京農工大学： 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(岩手大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(東京農工大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

(〇〇大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	m ² (m ²)							
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		(例) 平成27年4月 専任教員1名を新規 採用のため(27)		
	〇〇学部 〇〇学科			(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	該 当 な し			料 機 械 ・ 器 具 点 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ()	[] ()	[] ()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ()	[] ()	[] ()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(△△大学)

区 分		内 容					備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分, 〇km)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²				
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		〇〇短期大学と共用			
	m ² (m ²)								
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	〇〇学部 〇〇学科			室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	資料			機 械・器 具	標 本	該当なし	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m ²								
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m ²								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置計画書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 27 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
人文社会科学部								
人間科学課程	4	40	3年次 10	160	学士 (総合科学)	1.07	平成12年度	岩手県盛岡市上田三丁目18番34号
国際文化課程	4	75		300	学士 (総合科学)	1.03	平成12年度	同上
法学・経済課程	4	70		280	学士 (総合科学)	1.02	平成12年度	同上
環境科学課程	4	30		120	学士 (総合科学)	1.08	平成12年度	同上
教育学部								
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士 (教育)	1.05	平成12年度	岩手県盛岡市上田三丁目18番33号
生涯教育課程	4	50	—	200	学士 (生涯教育)	1.07	平成12年度	同上
芸術文化課程	4	40	—	160	学士 (芸術文化)	1.04	平成12年度	同上
工学部								
応用化学・生命工学科	4	75	3年次 20	300	学士 (工学)	1.07	平成21年度	岩手県盛岡市上田四丁目3番5号
マテリアル工学科	4	60		240	学士 (工学)	1.07	平成21年度	同上
電気電子・情報システム工学科	4	120		480	学士 (工学)	1.06	平成21年度	同上
機械システム工学科	4	80		320	学士 (工学)	1.05	平成21年度	同上
社会環境工学科	4	65		260	学士 (工学)	1.07	平成21年度	同上
農学部								
農学生命課程	4	55	3年次 5	220	学士 (農学)	1.07	平成19年度	岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
応用生物化学課程	4	40		160	学士 (農学)	0.99	平成19年度	同上
共生環境課程	4	55		220	学士 (農学)	1.09	平成19年度	同上
動物科学課程	4	30		120	学士 (農学)	1.04	平成19年度	同上
共同獣医学科	6	30		60	学士 (獣医学)	1.05	平成24年度	同上
人文社会科学研究科（修士課程）								
人間科学専攻	2	8	—	16	修士 (学術)	0.68	平成16年度	岩手県盛岡市上田三丁目18番34号
国際文化専攻	2	4	—	8	修士 (学術)	0.62	平成16年度	同上
社会環境システム専攻	2	4	—	8	修士 (学術)	0.50	平成16年度	同上
教育学研究科（修士課程）								
学校教育実践専攻	2	12	—	24	修士 (教育学)	0.74	平成21年度	岩手県盛岡市上田三丁目18番33号
教科教育専攻	2	20	—	40	修士 (教育学)	1.22	平成7年度	同上

工学研究科（博士前期課程）									
応用化学・生命工学専攻	2	25	—	50	修士 （工学）	1.34	平成21年度	岩手県盛岡市上田四丁目3番5号	
フロンティア材料機能工学専攻	2	30	—	60	修士 （工学）	1.31	平成21年度	同上	
電気電子・情報システム工学専攻	2	40	—	80	修士 （工学）	1.35	平成21年度	同上	
機械システム工学専攻	2	30	—	60	修士 （工学）	1.46	平成21年度	同上	
社会環境工学専攻	2	20	—	40	修士 （工学）	0.90	平成21年度	同上	
デザイン・メディア工学専攻	2	10	—	20	修士（工学又は 芸術工学）	1.80	平成21年度	同上	
金型・鋳造工学専攻	2	10	—	20	修士 （工学）	1.45	平成18年度	同上	
工学研究科（博士後期課程）									
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	—	27	博士 （工学）	0.47	平成21年度	岩手県盛岡市上田四丁目3番5号	
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士 （工学）	0.41	平成21年度	同上	
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	—	12	博士 （工学）	1.50	平成21年度	同上	
デザイン・メディア工学専攻	3	3	—	9	博士（工学又は 芸術工学）	1.55	平成21年度	同上	
農学研究科（修士課程）									
農学生命専攻	2	20	—	40	修士 （農学）	0.62	平成21年度	岩手県盛岡市上田三丁目18番8号	
応用生物化学専攻	2	15	—	30	修士 （農学）	1.09	平成21年度	同上	
共生環境専攻	2	16	—	32	修士 （農学）	0.78	平成21年度	同上	
動物科学専攻	2	8	—	16	修士 （農学）	0.93	平成21年度	同上	
バイオフロンティア専攻	2	8	—	16	修士 （農学）	0.93	平成21年度	同上	
連合農学研究科									
生物生産科学専攻	3	8	—	24	博士（農学又は 学術）	1.20	平成2年度	岩手県盛岡市上田三丁目18番8号	
生物資源科学専攻	3	10	—	30	博士（農学又は 学術）	0.83	平成2年度	同上	
寒冷圏生命システム学専攻	3	6	—	18	博士（農学又は 学術）	0.50	平成18年度	同上	
生物環境科学専攻	3	8	—	24	博士（農学又は 学術）	1.62	平成2年度	同上	
大学の名称	東京農工大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開設 年度	所在地	
農学部	年	人	年次 人	人		倍			
生物生産科学科	4	57	—	228	学士 （農学）	1.05	平成16年度	東京都府中市晴見町三丁目8番1号	
応用生物科学科	4	71	—	284	学士 （農学）	1.07	平成16年度	同上	
環境資源科学科	4	61	—	244	学士 （農学）	1.06	平成16年度	同上	
地域生態システム学科	4	76	—	304	学士 （農学）	1.05	平成16年度	同上	
共同獣医学科	6	35	—	70	学士 （獣医学）	1.11	平成24年度	同上	

獣医学科	6	—	—	—	学士 (獣医学)	—	平成16年度	同上	平成24年度 より学生募 集停止
工学部									
生命工学科	4	77	11	330	学士 (工学)	1.04	平成16年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
応用分子化学科	4	46	5	194	学士 (工学)	1.04	平成16年度	同上	
有機材料化学科	4	41	5	174	学士 (工学)	1.06	平成16年度	同上	
化学システム工学科	4	35	5	150	学士 (工学)	1.06	平成16年度	同上	
機械システム工学科	4	116	16	496	学士 (工学)	1.05	平成16年度	同上	
物理システム工学科	4	56	—	224	学士 (工学)	1.04	平成16年度	同上	
電気電子工学科	4	88	20	392	学士 (工学)	1.02	平成16年度	同上	
情報工学科	4	62	8	264	学士 (工学)	1.04	平成16年度	同上	
工学府（博士前期課程）									
生命工学専攻	2	58	—	116	修士（工学又は 学術）	1.07	平成16年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
応用化学専攻	2	78	—	156	修士（工学又は 学術）	1.05	平成16年度	同上	
機械システム工学専攻	2	70	—	140	修士（工学又は 学術）	1.07	平成16年度	同上	
物理システム工学専攻	2	26	—	52	修士（工学又は 学術）	1.09	平成16年度	同上	
電気電子工学専攻	2	66	—	132	修士（工学又は 学術）	1.06	平成16年度	同上	
情報工学専攻	2	42	—	84	修士（工学又は 学術）	1.11	平成18年度	同上	
工学府（博士後期課程）									
生命工学専攻	3	14	—	42	博士（工学又は 学術）	1.11	平成16年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
応用化学専攻	3	14	—	42	博士（工学又は 学術）	1.23	平成16年度	同上	
機械システム工学専攻	3	13	—	39	博士（工学又は 学術）	1.07	平成16年度	同上	
電子情報工学専攻	3	19	—	57	博士（工学又は 学術）	0.82	平成16年度	同上	
工学府（専門職学位課程）									
産業技術専攻	2	40	—	80	技術経営修士 (専門職)	0.99	平成23年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
農学府（修士課程）									
生物生産科学専攻		27	—	54	修士（農学又は 学術）	1.19	平成16年度	東京都府中市晴見町 三丁目8番1号	
共生持続社会学専攻		12	—	24	修士（農学又は 学術）	1.20	平成16年度	同上	
応用生命化学専攻		30	—	60	修士（農学又は 学術）	1.23	平成16年度	同上	
生物制御科学専攻		20	—	40	修士（農学又は 学術）	1.12	平成16年度	同上	
環境資源物質科学専攻		11	—	22	修士（農学又は 学術）	1.54	平成16年度	同上	
物質循環環境科学専攻		17	—	34	修士（農学又は 学術）	1.08	平成16年度	同上	
自然環境保全学専攻		19	—	38	修士（農学又は 学術）	1.25	平成16年度	同上	
農業環境工学専攻		10	—	20	修士（農学又は 学術）	1.00	平成16年度	同上	
国際環境農学専攻		28	—	56	修士（農学又は 学術）	0.99	平成16年度	同上	

生物システム応用科学府 (博士前期課程)							
生物機能システム科学専攻	2	59	—	118	修士(工学、農学又は学術)	1.28	平成27年度 東京都小金井市中町二丁目24番16号
生物システム応用科学専攻	2	—	—	—	修士(工学、農学又は学術)	—	平成16年度 同上
生物システム応用科学府 (博士後期課程)							
生物機能システム科学専攻	3	12	—	36	博士(工学、農学又は学術)	1.08	平成27年度 同上
生物システム応用科学専攻	3	—	—	—	博士(工学、農学又は学術)	—	平成16年度 同上
生物システム応用科学府 (一貫制博士課程)							
食料エネルギーシステム科学専攻	5	10	—	50	博士(工学、農学又は学術)	1.00	平成27年度 同上
生物システム応用科学府 (博士課程)							
共同先進健康科学専攻	3	6	—	18	博士(生命科学)	0.61	平成22年度 同上
連合農学研究科(博士課程)							
生物生産科学専攻	3	15	—	45	博士(農学又は学術)	1.30	平成19年度 東京都府中市晴見町三丁目8番1号
応用生命科学専攻	3	10	—	30	博士(農学又は学術)	0.66	平成19年度 同上
環境資源共生科学専攻	3	10	—	30	博士(農学又は学術)	1.20	平成19年度 同上
農業環境工学専攻	3	4	—	12	博士(農学又は学術)	2.08	平成19年度 同上
農林共生社会科学専攻	3	6	—	18	博士(農学又は学術)	1.33	平成19年度 同上

平成27年度より学生募集停止

平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇研究科 〇〇専攻>

(1) 担当教員表
(〇〇大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										平成26年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更(26) 平成26年7月 担当者変更(26)
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成26年4月	国際経済学	
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成25年4月	商	該当なし					………のため、就任が遅延(26)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成26年10月	金融論			後任未定			平成26年10月 □□□□准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成27年4月	〇〇〇〇論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るた め、科目を追加(27)

(△△大学)
……… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科に所属しない教員であって、全学共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、
<〇〇研究科 〇〇専攻>を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

	設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
岩手大学	14 (14)	9 (6)	0 (0)	5 (5)	28 (25)	11 [△3]	8 [△1]	0 [0]	4 [△1]	23 [△5]	65 歳	0 名	65 歳	0 名
東京農工大学	14 (12)	12 (11)	4 (6)	4 (4)	34 (33)	10 [△4]	13 [1]	5 [1]	6 [2]	34 [0]	65 歳	0 名	65 歳	0 名

	設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
	研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
〇〇大学	()	()	()	該当なし			歳	名	歳	名
△△大学	()	()	()				[]	[]	[]	歳

- (注) ・ 様式は、学部・学科の場合は上段、研究科の場合は下段を使用してください。
- ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 - ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

	番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
〇〇大学	1			該当なし
	2			
	3			
△△大学	1			
	2			
	3			

- (注) ・ 専任教員辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

〇〇大学： △△大学：	該当なし
--------------------	-------------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <h1 style="margin: 0;">該当なし</h1> </div>
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△研究科 △△専攻>

(1) 設置計画変更事項等 (〇〇大学)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位、 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div> り高めるため、必修科目(1科)。(別添〇「新旧対照表」参照) 改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学毎に記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む) (〇〇大学)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>
---	--

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付してください。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載してください。(記入例参照)
- ・ 構成大学毎に記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(3) 自己点検・評価等に関する事項

(〇〇大学)

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成27年5月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成27年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成27年度に評価機関（〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>
--	--

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 構成大学毎に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

(岩手大学)

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表予定時期 (27年 7月 一日)</p>

(東京農工大学)

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表予定時期 (27年 7月 一日)</p>
